

城北まちづくり通信

2024/10/23
60号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

「地域の未来づくり懇談会」の参加を募ります

地域のあり方や市政の展望などについて、市の幹部職員と直接意見交換し、地域と行政が一体となって地域課題の解決を図ることを目的に、今回、市主催の、城北地区「地域の未来づくり懇談会」を開催します。

ところで、こうした地域と行政が一体となって「協働のまちづくり」を進めるようになった背景には、いくつかの要因がありました。

全国的には、次の2つが主な要因だと言われています。

◎**複雑な地域課題**：高齢化や人口減少などの多岐にわたる問題が増え、行政だけでは解決できないため、市民と一緒に取り組む必要が生じたこと。

◎**住民の意識変化**：住民が自分たちの地域を良くしたいという意識が高まり、市役所と協力する姿勢が強まってきたこと。

「城北まちづくり協議会」は、上記のような社会的な要請に答えて、平成21年に、「協働のまちづくり」を推進する組織として、市から人的・財政的支援を受けて設立しました。

今回の懇談会は、『住んで良かったと実感できる“つながり合えるまちづくり”の再構築』をテーマにしています。具体的には下記の2点に絞って意見交換します。



①地域活動の拠点施設としての公民館の役割について

背景：令和6年4月から、公民館が地域コミュニティの維持と、持続的な発展を支援するセンター的な役割を担う拠点として、幅広いニーズに柔軟に答える施設となったこと。

資料：■地域活動・町内会運営「実態調査」集計結果
■城北地区『事業の棚卸連携協議会』協議資料 他

②孤独・孤立防止のための「見守り活動」等の在り方・仕組みづくり・活性化について

背景：都市化や核家族化により、昔ながらの近所付き合いや、地域のつながりを強めるイベントへの参加者（機会）が減り、町内会加入率も低下傾向にある。地域の人と人との「つながり」が希薄化する傾向にあり、一人暮らしの住民も増え、孤立しやすい環境が生まれてきている。

資料：■城北地区内の「見守りネットワーク」等の孤立を防ぐの仕組み 他

記

日時：令和6年11月5日 10:00～11:30

会場：城北地区公民館 第1・2会議室

尚、参加されます方は、資料部数・会場づくり等の関係がありますので、「氏名」・「居住町内名」・「電話番号」を、城北地区公民館（☎26-3997）までお知らせください。